

令和7年度 こども広場あんり保護者アンケート集計結果

園児数225人 提出数192人 回収率%85.3

※項目について Aそう思う Bやや思う Cあまり思わない Dまったく思わない (人数)

内 容	A	B	C	D	該当無し
Q、お子さんは園に行くのを楽しみにしていますか？	134	53	5	0	
Q、あんりでは「丈夫なからだ・おもいやりの心・やる気のある子」を園目標、「よりよい環境の中で、かかわり合いを持ち共に育つ」を重点目標として保育を行っていますが、園目標が活かされていると思われますか？	127	63	2	0	
Q、集団の中で一人ひとりを把握し、家庭と連絡を密に取り合いながら、保育活動が進められていると思われますか。	122	61	8	1	
Q、基本的な生活習慣や各学年・年齢で活発な保育活動が展開され、集団でのマナーが身についていると感じられますか。	120	68	4	0	
Q、お子さんは保育者（先生）を信頼していると感じられますか。	160	30	2	0	
Q、園の職員は、お子さんについての悩みや心配事を安心して話せる存在ですか？	135	54	2	1	
Q、園の食育への取り組み（栽培、クッキング、食事時のマナーを知る等）に満足していますか？	141	47	4	0	

※ 長時間保育について(預かり保育利用児・2・3号認定児のみ)

Q、担任以外の保育者にも安心して預けていますか。	97	28	5	0	62
Q、担任から長時間保育担当の保育者に、お子さんについての連絡等の引き継ぎができていると思われますか。	71	51	7	0	63

※市内の幼保園、こども園共通のアンケート項目

<保護者に対して>

(1)「我が子が通っている園の、園運営全般に対して満足していますか。」

・A「そう思う」122人 ・B「やや思う」64人 ・C「あまり思わない」6人 ・未記入0人

(2)「園で実施している保育参加や子育てトーク、家庭通信や職員との対話などは、子育て支援につながっていると感じますか。」

・A「そう思う」124人 ・B「やや思う」60人 ・C「あまり思わない」8人 ・未記入0人

○保護者アンケート記述より

- ・何より子どもが毎日楽しそうに登園して、楽しかったと帰ってくる。園の雰囲気が良い。
 - ・生活面を丁寧に見て頂き、少しずつ自分でできることが増え成長を感じる。
 - ・先生と友達との関わりの中で子どもが言葉をよく話すようになり、自分の意見を少しずつ伝えることができるようになったと感じる。
 - ・子どもたちの能力を引き出すような取り組みや四季を感じられる行事などして下さり、大変満足している。
 - ・年齢にあった遊びや行事をして下さり、子どもの成長が感じられる。
 - ・子どもが主体となって遊びを進める環境が整っており、子どもの口からは、毎日「楽しい。」が溢れていて、園が大好きである。
 - ・畑で体験が良い経験となっている。・楽しみな行事が多い。
 - ・園で野菜を育てたり、味噌を作ったり、クッキングをしたりと食育が充実している。
 - ・一人っ子なので異年齢の関りがありがたい。
 - ・おむつ処理をしていただける。
 - ・季節によって子どもたちが楽しめる活動があり、色々な経験ができ五感が育っていて良い。
 - ・発表会や運動会などの行事の運営について、様々な工夫がされている。
 - ・子どもが自由に選択して遊べる、体操教室や行事など規律を学ぶことのバランスが良いと感じる。
 - ・広い園庭で、たくさん遊べ、体操教室も定期的に実施。適度に行事があり満足です。
 - ・行事が程よくあり楽しませてもらっている。
-
- ・先生方が常に明るく笑顔である。先生方の関係が良い。保護者と先生方の関係が良好である。
 - ・先生に相談しやすく信頼でき、安心して子どもを預けられる。
 - ・どの先生も素敵で信頼できる。子どもが楽しく遊んでいることは、園が安心できる所だから。
 - ・常に子どもたちや保護者に声を掛けてくださり、我が子に合った過ごし方や関わり方を一緒に考え実践して下さるのでとても助かっている。
 - ・安全面を配慮しつつ、子ども達のやりたいことや考えを重視してくれていると思う。
 - ・一人一人の個性を尊重し子どもの性格に合わせてしっかりと対応し、寄り添ってくれている。
 - ・家庭と園と統一した保育ができていると感じる。
 - ・子どもが他の子に悪いことをされた時もしっかり対応して頂いて、良いことも悪いことも含めて友だちと関わることで、コミュニケーション力が付いていると思う。
 - ・子どもの体調の変化や怪我、様子、家で気になった事など細かく良く見て教えてくれる。
 - ・クラスの先生以外の先生からも子どもの話をしてもらえるので、良く見てくれている先生がいるのは嬉しい。
 - ・職員同士の情報共有がされていると感じる。
 - ・休日でも子どもから担任の先生の名前が出るので、良く信頼しているのが分かる。
 - ・事務所の先生も子どもの事や、実情を把握してくれているのが嬉しい。
 - ・先生がよく、環境も良いので満足です。
 - ・先生方の保護者への気配りもしっかりとしている。
 - ・親しみやすい先生が多く、親も子も話しやすい。
 - ・子育ての悩みを身近に気軽に相談でき、親身に話を聞いてくれる。
 - ・季節の行事、異年齢交流など、家ではできないことを経験させてもらい嬉しい。
 - ・バス通園で園に行くことが少ないですが、バスの先生からも声をかけてもらえて嬉しい。
-
- ・子どもの安全を最優先してくれていて、園の門の対策などしっかりとしている。
 - ・園舎はいつも清潔で、子どもも大人も歩きやすい。
 - ・PTAなど強制でなくボランティアという形で園の行事や奉仕作業などに携われたり、助けて頂いたりしているところが、みんなで助け合っって子どもたちを支えていて、素晴らしいと思う。
 - ・卒園してからもつながりを持ってくれる「里帰りの会」も大変ありがたい。

- ・活動記録の配信に1週間の予定が書いてあるので子どもと支度をする際に声掛けがしやすい
 - ・活動記録は毎日写真で園の様子を見られるので、子どもの話で理解できなかったことが分かり、子どもとの会話に繋がりありがたい。
 - ・預かり保育があることで、仕事復帰ができました。祖父母など預けられる人がいないので、本当に助かっている。兄弟の学校行事に参加できる。
 - ・保育士体験は、子どもが園で楽しみ頑張る姿を实际みられるところが良い。
 - ・保育参加日の候補が多くて都合がつけやすい。
 - ・保育士体験は、子どもの様子だけでなく、クラスの雰囲気や園の流れ、先生から子どもへの声掛けの仕方など日々の子育ての参考になる。
 - ・保育士体験や親子活動では、我が子以外の子ども達と関わる経験ができる。
 - ・親子活動は子どもと二人で過ごす時間がすくないので、貴重な時間となった。
 - ・親子活動や給食参観、お母さん先生等子どもやクラスなどの他の子と触れ合い、子どもの園での様子を間近で見ることができるので貴重な経験で、家庭での参考になっている。
 - ・親子活動では、父親が参加しやすい釘打ちの行事がよかった。
 - ・参観日で下の子の預かりや午後の預かり保育はとても助かっている。
-
- ・先生との対話や園だよりで情報を知ることができ、子育て支援につながっていると思う。
 - ・普段の遊びの中でも季節のものを取り入れ、こま遊びやなわとびなど様々な遊びや運動を積極的に取り入れていてありがたい。
 - ・子どもの様子を把握し、園での様子を教えてくれるので心強い。
 - ・先生方が、子どものことをしっかりと考えてくれる。
 - ・送迎時に園での様子や転んだ時の様子など伝えていただけるので、子どものフォローがしやすい
 - ・子どもの成長を感じ様々な姿を報告してくれるので、子育てへの自信となっている。
 - ・早番遅番の時間対応も助かっている。
 - ・面談の場を設けて頂き、先生との対話で子どもの今後を支えて頂いている。お迎えの時に先生が伝えて下さる子どもの事や、様子から、日々の成長を感じることができている。
 - ・面談では、普段知らない子どもの一面を知ることができ、家庭での保育の参考になる。
 - ・個別対応をしてくださり助かります。
 - ・好きなことを見守ってくれる。
 - ・子どもが少しでも危険かもしれないという場面があった際、その対策をすぐに実行してくれる。
 - ・何か起きててもすぐに対応してくれる。
 - ・保護者からあがった疑問にすぐに対応・改善してくれる。
 - ・何かあればすぐにアプリで連絡がある。
 - ・園での行事に保護者も参加しやすい。
 - ・給食のクオリティーが高い。
 - ・保健だよりは、季節柄参考になる内容が多い。

○こども広場あんりの運営に関する保護者からの質問・意見についてのQ&A

Q. 正面駐車場を16時から解放してほしい。お迎え時間がかかる、仕事後に長距離を歩いて迎えるは大変だと思ってしまう時がある。

A. 先日大阪の幼稚園で園内に不審者が侵入したというニュースがありました。当園では園児が戸外で遊んでいる時間帯や保護者の送迎の多い時間帯を考慮し、園児の抜け出し防止や飛び出し防止、不審者対策のため、二重施錠をしています。ご不便をおかけしておりますが、引き続き安全確保の為に協力お願い致します。お子様やご家族の体調不良など必要に応じて、正面駐車場通用門を開けて入って頂いております。また、雨の強い時の門の開放や園児が戸外へ出ていない日、日照時間が短い季節など、必要に応じて正面駐車場へ駐車できるようご対応をさせていただきます。

Q. 年齢が上がれば先生が見る子どもの数も増えるし、自分である程度話ができるようになってくるので仕方がないが、今までと比べると園での様子を聞ける機会が減ってしまったので、子どもが何か困っていないか、逆に先生方が困っていることはないかが分からない。

A. 園での様子を知る機会が減り、お子様の様子や困り感がわかりにくいと感じられたこと、不安な思いを抱かせてしまい申し訳ございませんでした。また、近年は職員の働き方改革の観点から、業務の見直しを行っており、その影響もあったと受け止めております。今後は、必要に応じて面談や声掛けの機会を大切に、お子様の育ちや困り感を共有できるよう努めてまいります。

Q. 基本的には怪我等報告をさせていただいているが、時々知らない怪我があり心配になる。

A. 基本的には怪我の際にはご報告させていただいておりますが、知らない怪我がありご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。園では、職員の見守りのもと保育を行っておりますが、軽微なけがについて把握が難しい場合もございます。今後は職員間で情報共有を丁寧に行い、安心してお預かりいただけるよう努めてまいります。ご心配なことなどありましたら、ご遠慮なくお声掛けください。

Q. 掃除が行き届いていない所がある。(朝から床が砂っぽい、手洗い場、ロッカーのほこり)

A. 掃除が行き届いていない箇所があったとのご意見を受け、園内の環境管理について改めて見直す必要性を感じております。清潔で安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

Q. 祖父母参観をしてほしい。

A. 祖父母参観会へのご提案をありがとうございました。祖父母の皆様は園の様子を見ていただきたいという気持ちがありたく受け止めております。行事を見直す観点から祖父母参観会の実施は難しいですが、行事や日常生活におけるボランティア活動としてのご協力については考えて参りたいと思います。

Q. 活動記録の写真が他の学年に比べて少ない。自分の子に移っていることも少ないと感じる。

A. 活動記録についてご意見をいただきありがとうございました。同じご家庭で差が出てしまったこと心苦しく思います。活動記録は保育の一場面ですので、安全確保や援助を最優先する中で、映り方に偏りが生じる場合がございます。より多くのお子さんの姿が伝わるよう工夫して参ります。気になることがありましたら、ご遠慮なくお知らせください。

Q. 乳児棟の入口が狭く使いづらい。

A. 玄関の入り口が狭く登校園時にはご不便をおかけしており、申し訳ございませんでした。構造上拡張することは難しい状況ですが、現在は出入りしやすくなるよう、ドアの位置を変更し、靴箱を取り除くことで改善をさせていただきました。引き続き状況を見ながら、改善に努めてまいります。

Q. 行事での兄弟の迎いの指定時間が早い。仕事をしている人にとってはその日だけでもどちらかの兄弟と関わる大切な時間を作れる機会なのに。

A. 行事日における兄弟姉妹のお迎えについてご意見をありがとうございました。ご家庭のご事情も理解しておりますが、兄弟姉妹におきましても大切な時間だと考えており、現在14時までの迎えでお願いしております。ご理解ご協力をお願いいたします。

Q. 兄弟がいる分行事が倍になるので、有休だけでは賄えなくなっている。園行事が基本的には平日なので有休を使わなければいけなく、風邪を引いたときにも仕事を休まないといけないので、働いている身としてはもう少し配慮していただけると助かる。

A. 園行事の実施にあたっては、働いている保護者の皆様への配慮も必要だと考えております。一方で、日常保育の流れを大切にすることや、職員の働き方改革の観点から、平日の開催とさせていただいております。頂いたご意見は今後の行事のあり方を考える上で、参考にさせていただきます。

Q. 1クラス30人近いと子どもの性格等を理解してもらうのが難しい。

A. クラス人数が多いことで、不安な気持ちにさせてしまい申し訳ございませんでした。職員確保の難しさや、産休、育休による体制調整が必要な状況ではありますが、来年度はクラスを増やし、保育体制の改善を図ってまいります。

Q. 先生に話せなかったことや困ったり痛かったりした出来事を家で吐き出すことが多い。

A. 園で気持ちや困り感を十分に伝えられず家庭で吐き出しているという声を大切に受け止めています。園と家庭と連携しながら、子どもの気持ちや変化を共有できるよう、子どもが安心して話せる環境づくりに一層努めてまいります。ご家庭でも気になる様子がございましたら、ぜひ園へお知らせ頂ければと思います。

Q. クラスの様子や月々の生活面でのねらい、トイレや食事の際の取り組み等、クラス単位で良いのでもう少し教えてもらえると嬉しい。

A. クラスの様子や、月ごとの生活面のねらい、トイレの取り組みについてより分かりやすくお伝えできるよう情報発信の方法を工夫してまいります。

たくさんの方の心温まるお言葉を頂けて感謝いたします。ありがとうございます。
皆様の貴重なご意見・ご要望を大切に受け止めて改善に努め、また、嬉しいお言葉を励みにしながら、より良い園を目指してまいります。
お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

令和7年度 こども広場あんり 自己点検・自己目標表

氏名 _____

取り組む内容	1年間の目標（4月）	中間評価（10月）	最終評価（2月）
※各内容について	※具体的にどんな取り組みをどの程度の目標か。	当初の目標に対する達成度・その過程で努力した点・反省点 ※具体的にどんな取り組みをどの程度したか。	
◇保育に関する目標 ・ ・			
◇働き方・職場環境 職場の一員としての目標 ・ ・			
◇園務分掌の役割について ・			

※目標は、人や仕事を管理するものではありません。モチベーションを高く仕事に取り組むためのものです。

目標についての最終自己評価

<input type="checkbox"/> A 満足	<input type="checkbox"/> B ほぼ満足	<input type="checkbox"/> C やや不満	<input type="checkbox"/> D 不満
0%	68.6%	25.7%	5.7%

* 5月9日までに提出してください。

令和 7年度 こども広場あんり 自己評価

氏名

	評価項目	目標設定の理由	取り組み内容	結果			
				A	B	C	D
1	一人一人の子どもの心に寄り添い、情緒の安定を図り、自尊感情を育てる。	・大人との関わりで愛着関係を築くことを土台に園児との関わりを育ててきているか。 ・友だちとあそぶ楽しさをたくさん経験し、良いところを見つけられているか。 ・自分の思いをだし、相手の思いも聞いて友だちの中で認め合うことができているか。	・個の特性や個人差を理解し、安心して園生活を送る事ができるよう思いに寄り添い、信頼関係を築いて行くことができるようにした。また、一人一人が輝ける場面を設けていき、自己肯定感を高めることや自信につながるよう工夫している。子どもの姿を捉え、遊びが発展していくように意識した。 ・子ども同士の関りを大切に安心して過ごせる雰囲気づくりと、対話を通して気持ちを伝え合う力を育てていけるよう工夫した。 ・子どもの好奇心をさらに引き出せるような取り組みをしていくために、自分自身の知識も深めたい感じた。	37.1%	54.3%	8.6%	0
	発達段階に応じて、子どもが主体的に活動や遊びをしていくことができる教育・保育をする。	・主体的に活動できる教育・保育を展開し、園児一人一人が「みたい」「しりたい」「やってみたい」と心を動かして生活や遊びができているか。教育・保育の過程を保護者に伝える工夫をし、保護者と連携して園児の育ちにつなげることができているか。		14.3%	74.3%	8.6%	2.9%
	自分を大切にし、友だちにも認められてつながりの中で育つ。	・同年齢や異年齢の友だちと助け合い、力を合わせることができ仲間づくりができているか。 ・友だちが認めてくれることで安定し、意欲をもって活動に取り組めるクラスづくりの中でひとりひとりの子どもが自尊感情をもち、友だちとともに育つことができているか。		14.3%	68.6%	17.1%	0
2	心の健康と体力の向上を図り、心と身体を育てる。	・安全に配慮し、体を動かして遊びたくなるような環境を作り、友だちと一緒に遊ぶ楽しい活動を、育ちのつながりを見通して、計画的に継続し、園児が主体的に取り組めるようにすることで、しなやかな心と体を育てることができているか。	・安全な環境づくりに配慮してきたが、ひやりとする場面があった。事前の環境確認を徹底し子ども達に遊具の使い方やルールを繰り返し伝えることで、事故防止への意識を高めていく。	8.6%	54.3%	34.3%	2.9%
	健康で安全に生活することができるように安全教育をし、環境を整える。	・ヒヤリハットを見つけている取り組みを重ね、過去の事故事例から学んで情報共有をし、健康で安全に生活することができるように安全教育をし、環境を整える。 ・安全教育に取り組むことで大きな事故を防ぐことができているか		11.4%	45.7%	42.9%	0
3	教育・保育の中で学びの芽を育てていく。	・0歳から大人との愛着関係を育てることを土台に、就学までの6年間を見通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識しながら、各年齢の生活やあそびの場面で、園児の行動や言葉の中に学びの芽が見つけれられるか。	・愛着関係を基盤に、一人一人の発達に応じた関りを意識した。生活や遊びの中で育ちの芽を丁寧に捉え、乳幼児期の土台作りを大切にしていきたい。 ・小中一貫の学園化で研究に携わることで、園の育ちと学校の学びの関係が少しずつ理解ができ、「10の姿」を意識した保育ができた。 ・研修等で、得た知識を子どもたちと実践していきたい。	5.7%	60%	34.3%	0
	園の育ち(乳幼児期)と小学校の学びがつながるようにしていく。	・発達過程に応じ、個人差に配慮しながら発達を保障し、園の育ちと学校の学びをつないでいるか。(乳幼児期) ・小学校の児童との交流・ふれあいの機会を持っているか。(主に5歳児)		8.6%	68.6%	22.9%	0
4	地域や社会とのつながりを深める。	・認定こども園に求められる社会的ニーズの変化に対応し、地域に根ざす園づくりについて考えているか。	・ボランティア活動を通じて、野菜の栽培、夏祭り、焼き芋パーティーなど地域の方とつながりを深めることができた。 ・来年度は祖父母ボランティア活動も取り入れていきたい。	8.6%	65.7%	14.3%	11.4%
5	職員がチームとして連携してこども園運営をする。	・教育・保育理念や方針、教育・保育課程や年間計画について職員同士が共通理解し、ねらいを明確に実践を楽しく展開することができているか。 ・園児のこと、教育・保育のことをよく話し合い、各職種とも職員間の連携をよくし、園児へのかかわりに活かすことができているか。	・日々の保育の動きや子どもの姿など、コミュニケーションをとり共有することで、保育につなげることができた。 ・話し合いの時間が持たず、共有が不十分だと感じる。 ・園の理念や方針の理解に差がある。	20%	37.1%	34.3%	8.6%

評価 A 満足 B ほぼ満足 C やや不満 D 不満